

公益財団法人 アイヌ民族文化財団とは…

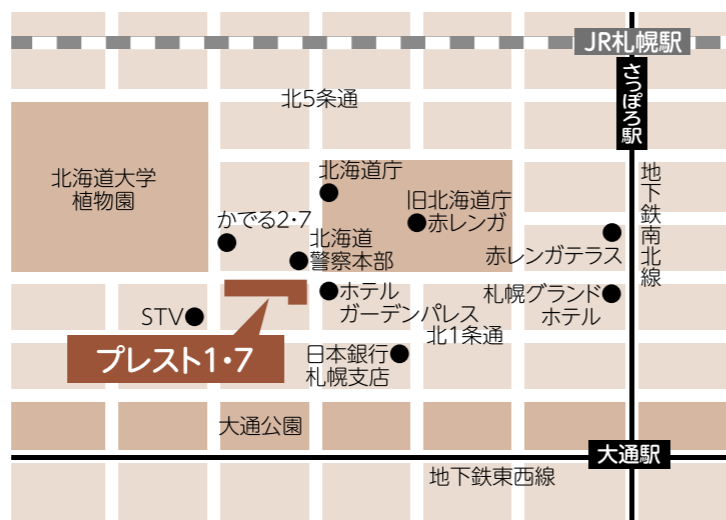
当財団は、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発を図るための施策の推進のほか、民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)の運営を行っています。

多様な価値観が共生し、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される共生社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の一層の発展に寄与するため、国内外においてさまざまな事業を実施しています。



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL.(011)271-4171
FAX.(011)271-4181
e-mail:ainu@ff-ainu.or.jp
URL <https://www.ff-ainu.or.jp>



アイヌ文化交流センター

〒111-0041
東京都台東区元浅草3丁目7番1号
住友不動産上野御徒町ビル3階
TEL.(03)5830-7547
FAX.(03)5830-7548
e-mail:acc-tokyo@ff-ainu.or.jp



[非売品] 転売禁止

令和6年度 アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course

Vol.
1

4月 ▶ 6月

おかもとともや
<講師> 岡本 朋也

STV ラジオ

毎週日曜日 朝7:00 ~ 7:15

<https://www.stv.jp/radio/ainugo/>



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも私たちが普段から身近に触れているアイヌ語として「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリン(樺太)や千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。地名の他にも「エトピリカ」「ラッコ」「ケイマフリ」など、アイヌ語由来として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、日常会話の言語として使われることが少なく、知っている単語も会話の中に稀に聞かれるだけです。それでも先祖から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座をラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、平成10年よりさまざまな講師をお招きして開講しております。

令和6年度の講師は様似町にルーツがあり、平取町在住の岡本朋也さんをお迎えして、アイヌ語の「様似方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

2024年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.1

目次

テキストは3ヶ月ごとに発行しています。

講師・支援研究者の紹介	p. 2
講座のスケジュール	p. 3
レッスン1～13	p. 4
ポッドキャストのお知らせ	p.30
賛助会員募集	p.33

令和6年度

アイヌ語ラジオ講座

Ainu radio course

Vol.
1

4月 ▶ 6月

おかもと ともや
<講師> 岡本 朋也

講師・執筆者紹介



おか もと とも や
岡本 朋也

浦河町生まれ、様似のアイヌにルーツがある。

伝承者育成事業第5期修了生。

現在は平取町地域おこし協力隊アイヌ工芸支援員として、日々木彫りの技術を学んでいる。

2021年アイヌ語弁論大会イタカンロー最優秀賞受賞。

2024年第57回北海道アイヌ伝統工芸展 最優秀賞(北海道知事賞)受賞。

協力者

はら だ けい すけ
原 田 啓 介

(株)平取町アイヌ文化振興公社勤務

札幌大学ウレシパクラブ第6期卒業生

平取町二風谷アイヌ語教室子どもの部所属

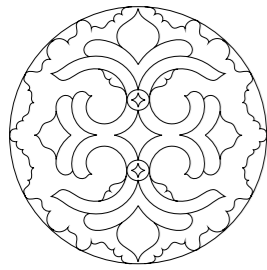
(支援研究者 なか がわ ひろし 中 川 裕 千葉大学文学部名誉教授)

<このテキストのアイヌ語と表記の仕方について>

現在のところアイヌ語には共通的な表現はあるものの、それぞれの地域での言い方があります。そのため、このテキストでは担当講師の方言(様似方言)でのアイヌ語をご紹介します。

スケジュール

月	日	Lesson	テーマ	ページ
4月	7日	1	自己紹介のことば 〇〇 アリ クレヘ アン! / 〇〇 ari ku=rehe an!	4
	14日	2	あいさつの表現 イワンケノ エアン? / iwankeno e=an?	6
	21日	3	発音と表記	8
	28日	4	4月の復習	10
5月	5日	5	疑問の表現① ネイ タ エアン? / ney ta e=an?	12
	12日	6	疑問の表現② ネブ エキ? / nep e=ki?	14
	19日	7	山菜採りに行こう! キナカラアン ノ! / kinakar=an no!	16
	26日	8	5月の復習	18
6月	2日	9	疑問の表現③ オノン エエク? / onon e=ek?	20
	9日	10	オオウバユリのはなし トゥレプ サラ アシ ナンコンナ。 / turep sar as nankor na.	22
	16日	11	〇〇がしたいの表現 トノト ククルスイ / tonoto ku=ku rusuy.	24
	23日	12	オヒョウの木のはなし アッケブ / atkep	26
	30日	13	6月の復習	28



Lesson 1 自己紹介のことば

〇〇 アリ クレヘ アン!
〇〇 ari ku=rehe an!

今日の例文

- ① イカタイ。 こんにちは。
ikatay.
- ② 〇〇 アリ クレヘ アン。 〇〇と申します。
〇〇 ari ku=rehe an.
- ③ ウアムキリアン ナ。 よろしくお願ひします。
uamkir=an na.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
イカタイ	ikatay	こんにちは
アリ	ari	～と
ク	ku=	私 (が、の)
レヘ	rehe	名前
アン	an	ある、いる
ウアムキリ	uamkir	知り合い同士になる
アン	=an	私たち (が)
ナ	na	～ぞ

解説

皆さんがよく耳にする【イランカラッテ / irankarapte】という挨拶の言葉は、「ご挨拶申し上げます」というような意味で、家に通されて席についてから、一定の作法をもって挨拶するときの言葉であったようです。しかし、アイヌ語もほかの言語と同様に時代に合わせて使い方も変化しています。

イランカラッテも、今は「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」と同じように使われています。地域によっては、【イシオロレ / isiorore】や【イナンカラッテ / inankarapte】などという言葉も使われます。様似、浦河、静内など日高東部の諸地域や十勝では、【イカタイ / ikatay】と言います。

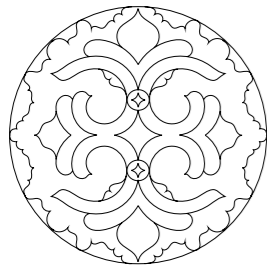
今回は名前を言うときの表現として「〇〇 アリ クレヘ アン」をご紹介しましたが、他にも【〇〇 クネ / ku=ne】や【アリ アンイエ ヲクネ / ari an=ye p ku=ne】などの言い方もあります。

単語でご紹介した【ク / ku=】は、「私が」とか「私の」というときに動詞や名詞につける言葉で「**人称接辞**」と呼びます。ローマ字表記ではku=のように、=(イコール)をつけて書くことにします。これは人称接辞であることがわかりやすいようにするための表記で、発音には関係ありません。【クレヘ / ku=rehe】で「私の名前」という意味になります。日本語では「〇〇と申します」というときに、「私は」とか「私の名前は」などといちいち言わなくてもOKですが、アイヌ語では「〇〇 アリ レヘ アン」のように、クを省略することはできません。このように言うと、誰か他の人の名前のことになってしまいます。【〇〇 クネ / ku=ne】も、【ク / ku=】は「私が」、【ネ / ne】は「である」ということで、直訳すると「〇〇で私はある」ということになりますが、これもクを省略して「〇〇 ネ」とは言いません。こう言うと、他の人のことになってしまうので、自分のことを言うときには必ず【ク / ku=】をつけておかなければいけません。

コラム ～様似の語源～

「様似」は「サマニ」と読むのが普通ですが、50～60年前までは地図に「シャマニ」と書かれたり、発音されることが多く、現在もシャマニと発音するお年寄りもいます。シャマニの方が古い発音のようで、江戸時代の文献でも「シャマニ」と書かれています。

「様似」という地名のモトのアイヌ語についてはいろいろな説があり、はっきりしたことは分かっていません。エサマンペツ(エサマン=かわうせ、ペツ=川)という川の名前からきているという人もいますし、サマムニまたはサムンニ(倒れ木のこと)が語源であるという人もいます。また江戸時代の文献には「シャマニ」という女性の名前が起源であるとの説も書かれています。



Lesson 2 あいさつの表現

イワンケノ エアン?

iwankeno e=an?

今日の例文

- ① イワンケノ エアン? あなたは元気ですか?
iwankeno e=an?
- ② イワンケノ クアン。 私は元気です。
iwankeno ku=an.
- ③ ピリカノ パイエ ヤン。 無事にお帰りください。
pirkano paye yan.
- ④ ピリカノ オカイ ヤン。 無事にお過ごしください。
pirkano okay yan.
- ⑤ スイ ウヌカラノ。 またお会いしましょう。
suy unukar=an no.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
イワンケノ	iwankeno	元気に、元気で
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
アン	an	ある、いる (単数形)
ク	ku=	私 (が、の)
ピリカノ	pirkano	よく、ちゃんと、無事に
パイエ	paye	行く (複数形)
ヤン	yan	してください
オカイ	okay	ある、いる (複数形)
スイ	suy	また、再び
ウヌカラ	unukar	会う
アン	=an	私たち (が)
ノ	no	~しよう

解説

アイヌ文化でのあいさつは、「元気ですか?」や「無事にお帰りください」など、お互いの健康状態に気を遣った言葉を交わしました。日本語では「元気ですか?」のように、相手の様子をたずねる言い方の場合に、「あなたは元気ですか?」とは言わないほうが普通ですが、アイヌ語では【エ / e=】「あなたが」という人称接辞を動詞の前に必ず付けます。これをつけずに「イワンケノ アン?」と言うと、「彼／彼女が元気ですか?」のように、他の人のことを尋ねることになってしまいます。

また、「〇〇してください」のような、いわば命令の言い方になる場合、相手が自分よりも年上であったり、丁寧にあいさつしたりするときには、相手が一人でも複数形の動詞を使ってあいさつをします。「ピリカノ パイエ ヤン」は、家にいる人が出発する人に向かって「さようなら」というときに使う言葉で、直訳すると「よく行きなさい」ということですが、【パイエ / paye】は「行く」の複数形で、単数形は【オマン / oman】と言います。このオマンを使って「ピリカノ オマン」と言っても同じ意味になりますが、「ピリカノ パイエ ヤン」のほうが丁寧な言い方になります。

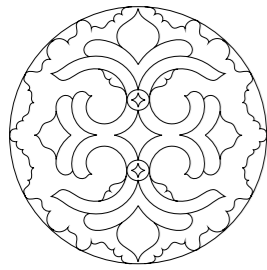
同じように「ピリカノ オカイ ヤン」は、出発する人が家にいる人に向かって言う「さようなら」のことで、直訳すると「よくいなさい」=「よく暮らさなさい」ということになります。オカイ「いる」の単数形【アン / an】を使って、「ピリカノ アン」ということもできますが、ちょっとぞんざいな言い方になります。なお、ヤンは命令の助詞ですが、複数形と一緒にしか使えません。また、命令文には人称接辞はつきません。

コラム ~熊撃ちの名人~

かつて、様似には、熊撃ちの名人でもあり、様似のリーダー的存在であった「岡本総吉」というエカシがいました。私の曾祖父にあたる方です。総吉エカシは髭がよく似合う威厳漂う風貌でしたが、子ども好きでとても穏やかな人だったそうです。

あるときは農家を襲った体重約170キロモのクマを仕留め、また、あるときは墓荒らしのクマを仕留め、人々から感謝され、頼りにされていたそうです。

1951年には、GHQの最高司令官マシュー・リッジウェイが様似を訪れ、狩猟をしたそうです。この時総吉エカシが山を案内して、自分が撃ったクマの毛皮をプレゼントして、大変喜ばれたそうです。



Lesson 3

発音と表記

アイヌ語は現在、カタカナとローマ字で表記しています。

母音は、5つ「a (ア)、i (イ)、u (ウ)、e (エ)、o (オ)」日本語と同じです。子音は、「k、s、t、c、n、h、p、m、y、r、w」の11個です。日本語は13個です。

	k	s	t	c	n	h	p	m	y	r	w
ア a	カ ka	サ sa	タ ta	チャ ca	ナ na	ハ ha	パ pa	マ ma	ヤ ya	ラ ra	ワ wa
イ i	キ ki	シ si		チ ci	ニ ni	ヒ hi	ピ pi	ミ mi		リ ri	
ウ u	ク ku	ス su	トゥ tu	チュ cu	ヌ nu	フ hu	プ pu	ム mu	ユ yu	ル ru	
エ e	ケ ke	セ se	テ te	チェ ce	ネ ne	ヘ he	ペ pe	メ me	イエ ye	レ re	ウェ we
オ o	コ ko	ソ so	ト to	チョ co	ノ no	ホ ho	ポ po	モ mo	ヨ yo	ロ ro	ウォ wo

解説

アイヌ語と日本語の一番の違いは、アイヌ語には子音で終わる音節末子音というものがあることです。

例えば、「夏」という意味の sak や「下りる」という意味の sap など、最後が k や p など日本語にはない子音で終わることがあります。カナで書く場合にはッやッなどの小文字を使って書き表します。このようなアイヌ語表記用のカナ小文字は、JIS 第3水準の文字としてほとんどのパソコンには標準で入っていますので、普通に打つことができます。

【フ/ p】は唇を閉じて息を出さずに止める音です。【チュフ/ cup】(太陽)は、聞きなれない「チュ/ cu」だけしか聞こえないかもしれませんが、「チュ」と言った後に、唇をしっかりと閉じるとこの発音になります。プをはっきりと発音して「チュフ/ cupu」と言うと、「つぼめる」という意味になり、まったく別の言葉になってしまいます。

- 【ッ/ t】：舌先を上歯の裏側につけて止める音
- 【ク/ k】：舌の奥を口の天井(軟口蓋)につけて止める音
- 【シ/ s】：シを声を出さずに発音する音
東日本人にはむしろ声をきちんと出す【シ/ si】の方が難しいかもしれません。
- 【ム/ m】：唇を閉じて鼻だけでムと発音する音
- 【ン/ n】：舌先を歯の裏につけて鼻から出す音
日本語のンは舌先をつけて発音しない場合が多いので、実は日本語話者には発音の難しい音です。
- 【rの音】
rは前に来た音に合わせて、ラ、リ、ル、レ、ロのように書き分けますが、大文字の(母音が後ろにある)ラ ra、リ ri、ル ru、レ re、ロ ro のようにはっきり言わずに、弱くあいまいに発音します。
例えば、コロ/ kor「持つ」はコロのようにもコルのようにも聞こえます。

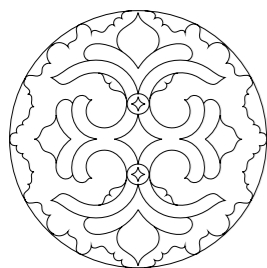
練習してみよう!

- ◆ 【サク/ sak】(夏) 【サッ/ sat】(乾く) 【サブ/ sap】(下りる) を練習してみましょう。
【サク/ sak】…サッカーの「カー」を言わずに、サッで止めると上手に発音できます。
【サッ/ sat】…去ったの「た」を言わずに、サッで止めると上手に発音できます。
【サブ/ sap】…さっぼろの「ぼろ」を言わずに、サッで止めると上手に発音できます。

コラム ~アポイヌプリ~

アポイヌプリは標高810メートル、山が幌満檜岩(ほろまんかんらんがん)というかんらん岩でできており、特殊な自然体系となっていることから「アポイ岳高山植物群落」として1952年に国の特別天然記念物に指定されました。アポイ岳には多数の珍しい植物が群生しており、様似固有の植物も発見されています。またかんらん岩という珍しい岩石が多数見られ、地質的にも珍しい特徴があります。

アポイヌプリはアイヌ語で「アペ=火 オ=ある イ=ところ ヌプリ=山」という意味でアペオイが縮まった形です。その昔鹿が全く捕れず、アポイ岳の山頂で祭壇を設け、そこで火を焚きカムイに祈ったことで、アポイと呼ぶようになったそうです。



Lesson 4

4月の復習

Lesson1 の例文

- ① イカタイ。 こんにちは。
ikatay.
- ② ○○ アリ クレヘ アン。 ○○と申します。
○○ ari ku=rehe an.
- ③ ウアムキリアン ナ。 よろしくお願ひします。
uamkir=an na.

Lesson2 の例文

- ① イワンケノ エアン? あなたは元気ですか?
iwankeno e=an?
- ② イワンケノ クアン。 私は元気です。
iwankeno ku=an.
- ③ ピリカノ パイエ ヤン。 無事にお帰りください。
pirkano paye yan.
- ④ ピリカノ オカイ ヤン。 無事にお過ごしください。
pirkano okay yan.
- ⑤ スイ ウヌカラノ。 またお会いしましょう。
suy unukar=an no.

Lesson3 の復習

【サク/ sak】 (夏) 【サツ/ sat】 (乾く) 【サプ/ sap】 (下りる) を発音してみましょう。

【サク/ sak】 …サッカーの「カー」を言わずに、サツで止めると上手に発音できます。

【サツ/ sat】 …去ったの「た」を言わずに、サツで止めると上手に発音できます。

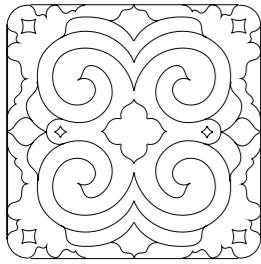
【サプ/ sap】 …さっぽろの「ぽろ」を言わずに、サツで止めると上手に発音できます。

Lesson1 の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
イカタイ	ikatay	こんにちは
アリ	ari	〜と
ク	ku=	私 (が、の)
レヘ	rehe	名前
アン	an	ある、いる
ウアムキリ	uamkir	知り合い同士になる
アン	=an	私たち (が)
ナ	na	〜ぞ

Lesson2 の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
イワンケノ	iwankeno	元気に、元気で
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
アン	an	ある、いる (単数形)
ク	ku=	私 (が、の)
ピリカノ	pirkano	よく、ちゃんと、無事に
パイェ	paye	行く (複数形)
ヤン	yan	してください
オカイ	okay	ある、いる (複数形)
スイ	suy	また、再び
ウヌカラ	unukar	会う
アン	=an	私たち (が)
ノ	no	〜しよう



Lesson 5 疑問の表現①

ネイ タ エアン?

ney ta e=an?

今日の例文

- ① マキリ ネイ タ アン? マキリはどこにあるの?
makiri ney ta an?
- ② トアン タ アン ナ。 あそこにあるよ。
toan ta an na.
- ③ ネイ タ エアン? どこにあなたはいるの?
ney ta e=an?
- ④ テ タ クアン。 ここに私はいます。
te ta ku=an.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
マキリ	makiri	小刀
ネイ	ney	どこ
タ	ta	に、で
アン	an	ある、いる (単数形)
トアン	toan	あそこ
ナ	na	よ、ぞ
エ	e=	あなた (が、の)
テ	te	ここ
ク	ku=	わたし (が、の)

解説

「どこに」と尋ねるときは【ネイ タ / ney ta】を用います。「ネイ タ エアン?」という「あなたはどこにいるの?」と尋ねることになります。

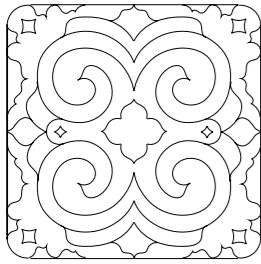
あなたや私について表現するときは、動詞の前に必ず、【ク / ku=】や【エ / e=】など、誰がということを表す人称接辞をつけますが、マキリなどの物や【トアン ペ / toan pe】「あの人」などのように、その場にはいない第三者については動詞の前に人称接辞はつけません。

場所を示す表現としては、【トオン タ / toon ta】や【トアン タ / toan ta】、【テ タ / te ta】のような区別があります。【トオン タ / toon ta】はずっと離れているところ、【トアン タ / toan ta】はそれより近くにあるところ、【テ タ / te ta】はすぐ近くを表します。この【タ / ta】は「どこそこで」とか「どこそこに」の「で」や「に」のように、場所を示す言葉です。

【タ / ta】の代わりに【ペ / pe】を使って、【トオン ペ / toon pe】は「あの人 (物)」、【トアン ペ / toan pe】は「あの / その人 (物)」のように言うと、人や物を示す表現になります。ただし、「テ ペ」とは言いません。近くにいる人のことは【タパン ペ / tapan pe】の「この人 (物)」とか【タアン ペ / taan pe】の「この人 (物)」と言います。

コラム ~どこに行ってしまったのか~

マタギをしていた私の曾祖父の岡本総吉は、ある時山からの帰り道、とある家の玄関先で腰を降ろして一休みしていると、連れて行った犬がその家の犬と喧嘩を始め、それを止めるため外へ出たそうです。ちょうどそこへ運材のトラックが通り、乗せてもらい帰宅しました。ですが、大切な鉄砲をその家に忘れたことに気づき、次の日すぐにその家に行き鉄砲を忘れたことを話しましたが、そんなものはなかったと言われ、結局鉄砲は戻ってこなくて、その後マタギを辞めてしまったそうです。



Lesson 6 疑問の表現②

ネッ エキ? nep e=ki?

今日の例文

- ① ネッ エキ ルスイ? あなたは何をしたいの?
nep e=ki rusuy?
- ② ネッ エキ? あなたは何をするの?
nep e=ki?
- ③ イヌイエ クキ。 木彫りを私はするよ。
inuye ku=ki.
- ④ ケメイキ クキ ルスイ。 私は裁縫がしたい。
kemeyki ku=ki rusuy.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ネッ	nep	何
エ	e=	あなた (が、の)
キ	ki	～する
イヌイエ	inuye	木彫、木彫をする
ク	ku=	わたし (が、の)
ルスイ	rusuy	したい
ケメイキ	kemeyki	裁縫、裁縫をする

解説

「何」という時は【ネッ/ nep】という疑問詞を用います。「何」を表わすのに日高の沙流方言などでは【ヘマンタ/ hemanta】という疑問詞が用いられますが、北海道のアイヌ語方言の多くは類似方言と同じく【ネッ/ nep】が使われています。【ネッ/ nep】の後に、「あなた」を表す人称接辞の【エ/ e=】と、「～する」という意味の【キ/ ki】を付けると「ネッ エキ?」(あなたは何するの?) という文章になります。

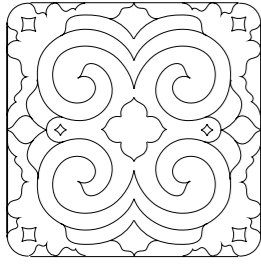
そして【キ/ ki】の後に、「したい」という意味の【ルスイ/ rusuy】を付けると「ネッ エキ ルスイ?」(あなたは何をしたいの?) という文章を作ることができます。

また、【キ/ ki】の前に【イヌイエ/ inuye】(木彫り)とか【ケメイキ/ kemeyki】(裁縫)という言葉を置くと、「イヌイエ キ」(木彫りをする)、「ケメイキ キ」(裁縫をする)のように、それを「する」という意味になりますが、実は、この【キ/ ki】の前に来る言葉は、それ自体が「木彫りする」「裁縫する」のような意味を表わす動詞です。ということは、人称接辞をつけて【ク イヌイエ/ ku=inuye】(私は木彫りする)、「エケメイキ/ e=kemeyki」(あなたは裁縫する)のように言うこともできるということです。

アイヌ語は自動詞がそのまま名詞としても使えますので、日本語で「〇〇する」という訳語にあたるもの以外でも、【シノッ/ sinot】(遊ぶ・遊び)、「イタク/ itak」(話す・言葉)、「ウェンタラッ/ wentarap」(夢を見る・夢)など、いろいろな言葉が動詞と名詞のふたつの意味を持っています。このような言葉にさらに【キ/ ki】をつけて、【トアンペ ピリカ イタク キ/ toan pe pirka itak ki】(あの人はいい言葉を言った=「いいことを言った」)のような文章を作ることができます。

コラム ～類似の口承文芸の達人～

類似には、アイヌ文化伝承者としてたくさんの資料を残し、アイヌの口承文芸の歌い手、達人であった岡本ユミフチがいました。私の曾祖母にあたる方です。ユミフチの独特の歌い回しは、誰でも真似できるものではありません。そんなユミフチを今年度は少しずつ紹介していこうと思います。



Lesson 7 山菜採りに行こう！ キナカラアンノ！ kinakar=an no!

今日の例文

- ① ハポ、ヘタク キナカラアンノ！ お母さん、早く山菜採りに行こう！
hapo, hetak kinakar=an no!
- ② エ！パイェアンノ。 はい、行きましょう。
e! paye=an no.
- ③ テ タ プクサキナ アンナ！ ここにニリンソウがあるよ！
te ta pukusakina an na!
- ④ トアン タ プクサ カ アンナ。 あそこにギョウジャニンニクもあるよ。
toan ta pukusa ka an na.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
ハポ	お母さん
ヘタク	さあ、はやく
キナカラ	山菜採りをする
アン	わたしたち(が)
ノ	しよう
エ	はい(誘いかげや命令に対する返事)
パイェ	行く(複数形)
テ	ここ
タ	に、で
プクサキナ	ニリンソウ

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)	シサム イタク sisam itak (日本語)
アン	ある、いる(単数形)
ナ	よ、ぞ
トアン	あそこ
プクサ	ギョウジャニンニク
カ	も

解説

春ごろに採れる山菜はアイヌにとって貴重なもので、毎年この時期になると山菜採りに向かいます。「山菜採りに行こう！」は「キナカラアンノ！」と言います。ぜひ皆さんも山菜採りに誰かを誘うときは「キナカラアンノ！」と言ってみてください。「さあ」という意味の【ヘタク/hetak】を頭に付けると、より早く山菜採りに行けるでしょう。

このように「〇〇しよう」と誘うときには、「私たちが」という意味の【アン/=an】という人称接辞を動詞の後ろにつけて、さらにその後ろに【ノ/no】(～しよう)という終助詞を置いて表します。Lesson 2で出てきた【スイ ウヌカラアンノ/suy unukar=an no!】と同じ言い方ですね。

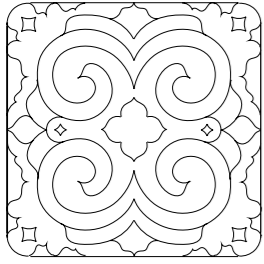
このように、「誰が」という主語を表わす場合に、【ク/ku=】(私が)や【エ/e=】(あなたが)は動詞の前につきますが、「私たちが」の【アン/=an】は後ろにつけます。ローマ字表記でイコールが前についているのは、その前に動詞が来るという意味です(ただし自動詞の場合なので、それについてはまた後で説明します)。この点でも、アイヌ語の文法は日本語ととても違うことがよくわかりますね。

なお、【プクサキナ/pukusakina】(ニリンソウ)と【プクサ/pukusa】(ギョウジャニンニク)は、名前は似ていますが全然違う植物です。どちらもアイヌ料理にはかかせない山菜です。

コラム ～好きな山菜～

プクサ(ギョウジャニンニク)、マカヨ(フキノトウ)など美味しい山菜は、たくさんありますが、中でも私が好きな山菜は、ハイキナ(オオバイラクサ)です。初めて天ぷらで食べた時の甘味が忘れられなく、それから好物になりました。

しかし食べすぎると、喉が痒くなるという難点も・・・



Lesson 8

5月の復習

Lesson5の例文

- ① マキリ ネイ タ アン? マキリはどこにあるの?
makiri ney ta an?
- ② トアン タ アン ナ。 あそこにあるよ。
toan ta an na.
- ③ ネイ タ エアン? どこにあなたはいるの?
ney ta e=an?
- ④ テ タ クアン。 ここに私はいます。
te ta ku=an.

Lesson6の例文

- ① ネプ エキ ルスイ? あなたは何をしたいの?
nep e=ki rusuy?
- ② ネプ エキ? あなたは何をするの?
nep e=ki?
- ③ イヌイエ クキ。 木彫りを私はするよ。
inuye ku=ki.
- ④ ケメイキ クキ ルスイ。 私は裁縫がしたい。
kemeyki ku=ki rusuy.

Lesson7の例文

- ① ハポ、ヘタク キナカラアン ノ! お母さん、早く山菜採りに行こう!
hapo, hetak kinakar=an no!
- ② エ! パイエアン ノ。 はい、行きましょう。
e! paye=an no.
- ③ テ タ プクサキナ アン ナ! ここにニリンソウがあるよ!
te ta pukusakina an na!
- ④ トアン タ プクサ カ アン ナ。 あそこにギョウジャンニクもあるよ。
toan ta pukusa ka an na.

Lesson5の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
マキリ	makiri	小刀
ネイ	ney	どこ
タ	ta	に、で
アン	an	ある、いる (単数形)
トアン	toan	あそこ
ナ	na	よ、ぞ
エ	e=	あなた (が、の)
テ	te	ここ
ク	ku=	わたし (が、の)

Lesson6の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ネプ	nep	何
キ	ki	～する
イヌイエ	inuye	木彫、木彫をする
ルスイ	rusuy	したい
ケメイキ	kemeyki	裁縫、裁縫をする

Lesson7の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ハポ	hapo	お母さん
ヘタク	hetak	さあ、はやく
キナカラ	kinakar	山菜採りをする
アン	=an	わたしたち (が)
ノ	no	しよう
エ	e	はい (誘いかけや命令に対する返事)
パイエ	paye	行く (複数形)
プクサキナ	pukusakina	ニリンソウ
アン	an	ある、いる (単数形)
プクサ	pukusa	ギョウジャンニク
カ	ka	も



Lesson 9 疑問の表現③

オノン エエク?

onon e=ek?

今日の例文

- ① オノン エエク? あなたはどこから来たの?
onon e=ek?
- ② ○○ オロ ワ クエク。 私は○○から来ました。
○○ or wa ku=ek.
- ③ エノン エオマン? どこへ行くの?
enon e=oman?
- ④ ○○ オレン クオマン 私は○○へ行きます。
○○ or en ku=oman.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
オノン	onon	どこから
エ	e=	あなた、君、お前(が、の)
エク	ek	来る(単数形)
オロ	or	～のところ
ワ	wa	から
エノン	enon	どこへ
オマン	oman	行く(単数形)
エン	en	～へ
ク	ku=	私(が、の)

解説

どこへ?どこから?というアイヌ語は、様似方言では、【エノン / enon】(どこへ?)、【オノン / onon】(どこから?)と言います。「どこへ」「どこから」の言い方は、方言によって大きく違いますが、この疑問詞は、静内、様似などの日高地方東部や、十勝地方で使われます。

その答えとして「○○へ」という時には、「○○ オロ エン」と言います。発音する時には「オレン」のようにつなげて言うこともよくあります。この「オロ エン」という言い方もまた、日高地方東部や十勝地方の言い方で、他方言では【オルン / or un】(オロ ウン)や【オレネ / or ene】(オロ エネ)あるいは【オンネ / onne】と言います。

一方で、「○○から」というときには、どの方言でも【オロ ワ / or wa】と言います。実は、「へ」とか「から」を表しているのは、【エン / en】や【ワ / wa】だけで、その前にある【オロ / or】というのは、「～のところ」という意味です。たとえば、「家へ行く」は、【チセ オレン オマン / cise or en oman】と言いますが、直訳すると「家のところへ行く」ということになります。アイヌ語では場所と場所以外をはっきりと区別します。チセ「家」は場所ではないので、「エン」とか「ワ」を直接つけることはできません。つまり、【チセ エン オマン / cise en oman】とは言えません。チセを場所として扱うためには、場所を表わすための言葉である「オロ」を入れておく必要があるのです。もっとも「オロ」を入れなくてよい場合もあるのですが、とりあえずはおまじないだと思って、「オレン」「オロ ワ」と覚えておきましょう。

コラム ～親子岩～

様似町の海にはとても大きな親子岩があります。

この岩については、昔、東の方で戦があり、村おさが負けて家族ともども逃げてきて、村おさが海の中に入って岩に姿を変えたが、追っ手の矢が当たって岩が3つに分かれてしまったという伝説が記録されています。

この岩のアイヌ語名については、江戸時代に描かれた地図に「ホンレフシヘ」と書いてあり、「ポンレフシペ(ポン=小さい レフシペ=海中の岩)」だと思われます。

一方、「様似町史」にはウンベレブンケ(ウンベは海辺川のごとで、レブンケはおそらくもとはレプニケ、これは海中の岩のことを指すようです)と書かれており、こういう言い方もあったようです。



Lesson10 オオウバユリのはなし
トゥレプ サラ アシ ナンコン ナ。
turep sar as nankor na.

今日の例文

- ① トゥレプタアン ノ。 オオウバユリ掘りをしましょう。
turepta=an no.
- ② トゥレプ ポロンノ クタ。 私はオオウバユリをたくさん掘りました。
turep poronno ku=ta.
- ③ 「トゥレプ サラ アシ ナンコン ナ。」 「ウバユリがたくさん育ちますように」
アリ アンイエ コロ と私たちは言いながら
“turep sar as nankor na.” ari an=ye kor
- ④ ハム アントウイエ ワ アンチャラパ。 葉っぱを切ってばら撒きます。
ham an=tuye wa an=carpa

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
トゥレプタ	turepta	オオウバユリ掘りをする (自動詞)
アン	=an	私たち (が)
ノ	no	しよう
トゥレプ	turep	オオウバユリ
ポロンノ	poronno	たくさん
ク	ku=	私 (が、の)
タ	ta	～を掘る、～を取る (他動詞)
サラ	sar	草原
アシ	as	立つ (自動詞)
ナンコロ	nankor	～だろう
ナ	na	～ぞ
アリ	ari	～と
アン	an=	私たち (が、の)
イエ	ye	～を言う (他動詞)
コロ	kor	～ (し) ながら
ハム	ham	葉
トウイエ	tuye	～を切る (他動詞)
ワ	wa	～ (し) て
チャラパ	carpa	～をばら撒く (他動詞)

解説

【トゥレプタ / turepta】「オオウバユリ掘りをする」のような自動詞の場合、「私たちが」を表わす【アン / =an】は動詞の後ろにつきます。それに対して、【イエ / ye】(～を言う)、【トウイエ / tuye】(～を切る)、【チャラパ / carpa】(～をばら撒く)のような他動詞の場合は、【アン / an=】は動詞の前につきます。つまり、その動詞が自動詞か他動詞かわかっていないと、「私たちが〇〇した」と言うことができないことになります。日本語の話者は普段使っている言葉が自動詞か他動詞かなど意識したことがないはずですので、ここはアイヌ語の学習で大変苦労するところです。

また、この「私たちが」を表わす【アン / an=,=an】は、自分たちのことだけでなく、もっと一般的なことを表すのにも使えます。「ウバユリがたくさん育ちますように」と言いながら葉っぱをまき散らすのは、昔はウバユリを採った時に誰でもがやったことですので、そういう時にも「アン」を使います。

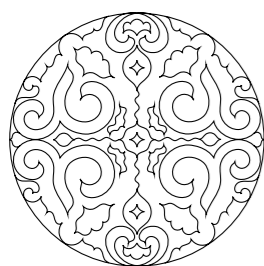
「トゥレプ ポロンノ クタ」(私はたくさんオオウバユリを掘った)の「タ」は(～を掘る)という意味です。また生活に必要なものを地面や地下から取って来るという意味もあり、【ワッカカタ / wakka ta】と言うと「水汲み」の意味になり、芋掘りも「タ」を使うことができます。そして、この「タ」は他動詞ですので、「私たちが掘った」と言うときには、【トゥレプ ポロンノ アンタ / turep poronno an=ta】となります。例文①【トゥレプタアン / turepta=an】(私たちがウバユリを掘った)と比べてみるとわかるように、目的語(この場合は「トゥレプ」)と他動詞(この場合は「タ」)をくっつけることで、自動詞(トゥレプタ)ができあがることになります。他動詞「タ」に「アン」がつくときには【アンタ / an=ta】のように前に、自動詞「トゥレプタ」に「アン」がつくときには【トゥレプタアン / turepta=an】のように後ろにつくことがわかりますね。



コラム ～トゥレプ (オオウバユリ) ～

オオウバユリはその名の通りユリの仲間です。本州・四国・九州に生えるウバユリより大型の種類で「オオウバユリ」または「エゾウバユリ」というのが正式名称です。昔アイヌが利用していた植物として非常に有名です。

かつては馬車に積んで運ぶほどのたくさんのオオウバユリをとって保存していたそうです。岡本ユミフチは、オオウバユリをとり終えたあと、球根および茎を残して、切った葉っぱをその場に撒きながら「トゥレプ サラ アシ ナンコン ナ (オオウバユリがたくさん育ちますように)」と感謝しながら言いました。



Lesson11 OOがしたいの表現

トノト ククルスイ tonoto ku=ku rusuy.

今日の例文

- ① トノト ククルスイ。 私はお酒が飲みたい。
tonoto ku=ku rusuy.
- ② クイク ルスイ。 私はお酒が飲みたい。
ku=iku rusuy.
- ③ カム エエ ルスイ。 あなたは肉が食べたい。
kam e=e rusuy.
- ④ エイペ ルスイ。 あなたは食事がしたい。
e=ipe rusuy. =おなかがすいている。

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
トノト	tonoto	酒
ク	ku=	私 (が、の)
ク	ku	～を飲む (他動詞)
ルスイ	rusuy	～したい
イク	iku	酒を飲む (自動詞)
カム	kam	肉
エ	e=	あなた (が、の)
エ	e	～を食べる (他動詞)
イペ	ipe	食事する (自動詞)

解説

日本語に訳すと同じような意味になってしまう動詞でも、アイヌ語では自動詞と他動詞が区別されています。簡単に言うと、目的語をとるのが他動詞で、とらないのが自動詞です。【ク / ku】は「～を飲む」という他動詞で、①の場合は【トノト / tonoto】(酒)という目的語があることでそれがわかります。それに対して②の【イク / iku】は「酒を飲む、飲酒する」という自動詞であって、目的語をとりません。「トノト クイク」と言ってしまうと「酒を飲酒する」というようなことになって、変な言い方になってしまい文として成立しません。また主語を表わす「ク」を取ってしまって、「トノト イク」と言ったら、「トノト」が主語になってしまって、「酒が飲酒する」という、ますますわけのわからない表現になってしまいます。

【エ / e】「～を食べる」(他動詞)と【イペ / ipe】「食事する」(自動詞)という組み合わせも同様で、「カム エ」で「肉を食べる」とは言えますが、「カム イペ」では「肉が食事する」という意味になってしまいます。

【ルスイ / rusuy】は「～したい」という意味の助動詞です。助動詞というのはその名の通り、動詞を補助する役割を持つもので、動詞の後につけると様々な表現ができます。例えば、「行く」という意味の【オマン / oman】の後に「ルスイ」を付けると【オマン ルスイ / oman rusuy】で「行きたい」となったり、「～を持つ」という意味の【コロ / kor】の後に「ルスイ」を付けると【コン ルスイ / kor rusuy】で「欲しい」となります。

アイヌ語には、音交替という現象があり、【コロ ルスイ / kor rusuy】「見たい」や【モコロ ルスイ / mokor rusuy】「眠たい」のように、rとrが並ぶと、前のrがnに替わって、「コン ルスイ」「モコン ルスイ」のように発音されます。

コラム ～クジラの骨の話～

私が幼い頃、父にとある山に連れて行ってもらったことがあります。そこで面白い話を聞かせてくれました。

「このもっと山奥のてっぺんにクジラの骨が残ってるんだぞ、俺が中学生くらいの時にじいちゃんに連れて行ってもらって実際に見たんだ。今度連れてってやる。」そう約束しましたが、なかなか行けず、父は病に倒れてしまい、体が不自由になってしまいました。

しかしいつかは、場所を聞き出して、クジラの骨がある山頂に行ってみたいなと思います。



Lesson12 オヒョウの木のはなし

アッケフ atkep

今日の例文

- ① アツニ アン ナ。 オヒョウの木があるよ。
atni an na.
- ② クアッケフ ルスイ ナ。 オヒョウの皮剥ぎをしたいな。
ku=atkep rusuy na.
- ③ オピッタ ヘンネ エアッケフ チク ピリカ。 全部剥がないほうがいいよ。
opitta henne e=atkep cik pirka.
- ④ クエラムアン、ポンノ パテク クアッケフ。 わかった、すこしだけ剥ぐよ。
ku=eramuan, ponno patek ku=atkep.

単語の紹介

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
アツニ	atni	オヒョウの木
アン	an	ある、いる (自動詞：単)
ナ	na	よ、ぞ
ク	ku=	私 (が、の)
アッケフ	atkep	オヒョウの木の皮を剥ぐ (自動詞)
ルスイ	rusuy	～したい
オピッタ	opitta	すべて、ぜんぶ
ヘンネ	henne	～ない (否定)
エ	e=	あなた (が、の)
チク	cik	～すると
ピリカ	pirka	良い (自動詞)
エラムアン	eramuan	～が分かる (他動詞)
ポンノ	ponno	少し
パテク	patek	だけ

解説

日本語では否定文を作る時に、「〇〇し・ない」のように、動詞の後ろに「ない」という助動詞をつけますが、様似方言では、動詞の前に【ヘンネ / henne】という副詞をつけて否定の文章を作ります。例えば、【クアッケフ / ku=atkep】は、「私がオヒョウの木の皮を剥ぐ」ですが、その前に「ヘンネ」をつけると、【ヘンネ クアッケフ / henne ku=atkep】(私はオヒョウの木の皮を剥がない)という意味の否定文にすることができます。他の多くの方言では「ヘンネ」の代わりに【ソモ / somo】をつけて否定の意味にします。「ヘンネ」を使うのは、様似方言や静内方言といった日高東部の方言だけです。

【アッケフ / atkep】という動詞は、【アツ / at】(オヒョウの樹皮)という名詞と、【ケフ / kep】(～を剥ぐ)という他動詞が合体したものです。「アツ」は「ケフ」の目的語であり、目的語と他動詞が一語になって「アッケフ」という自動詞になります。「私がオヒョウの木の皮を剥ぐ」というときには、自動詞の方を使って【クアッケフ / ku=atkep】と言うことも、目的語+他動詞の方を使って、【アツ ケフ / at ku=kep】と言うこともできます。否定文にする時も、【ヘンネ クアッケフ / henne ku=atkep】と言うことも、【アツ ヘンネ ケフ / at henne ku=kep】と言うこともできます。

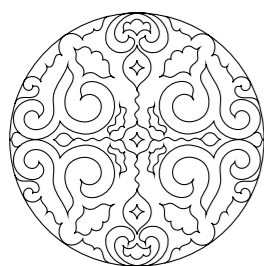
【アツニ / atni】(オヒョウの木)という名詞も、【アツ / at】と【ニ / ni】(木)を組み合わせたものです。つまりオヒョウという木の名前は、その樹皮を表わす「アツ」という言葉が元になってできているのです。アイヌ語にはこのように、利用する部分の名前が先にあって、それから全体の名前がついているものがよくあります。

文章の最後に【チク ピリカ / cik pirka】(～すると良い)を付けると、やんわりと相手の行動を促した表現ができます。反対に【チク ウエン / cik wen】(～すると悪い)と言うと、「～するな」という意味になります。

コラム ～アイヌとオヒョウの木～

アイヌにとってオヒョウの木はとても重要な樹木として有名です。オヒョウの木の皮の内側の皮(内皮)を用いて着物や反物(アットゥシ)が昔から今に至るまで作られています。平取町二風谷で作られている「二風谷アットゥシ」は国の「伝統的工芸品」に指定されています。

アイヌ語からもオヒョウの木の重要性が伝わっており、【アッケフ / atkep】は「オヒョウの木の皮を剥ぐ」という意味の単語です。オヒョウの木の皮を剥ぐ事が日常的にないという単語は使われない、残らないと私は思いますので、言葉や工芸、あらゆる面から見てもオヒョウの木というのは重要だというのが伝わります。



Lesson13

6月の復習

※今回は Lesson 9～12 から抜粋して復習しましょう！

Lesson9 の例文

- ① オノン エエク? あなたはどこから来たの?
onon e=ek?
- ② 〇〇 オロ ワ クエク。 私は〇〇から来ました。
〇〇 or wa ku=ek.

Lesson10 の例文

- ① 「トゥレプ サラ アシ ナンコン ナ。」 「ウバユリがたくさん育ちますように」
アリ アンイエ コロ と私たちは言いながら
"turep sar as nankor na." ari an=ye kor
- ② ハム アントウイエ ワ アンチャラパ。 葉っぱを切ったら撒きます。
ham an=tuye wa an=carpa

Lesson11 の例文

- ① トノト クク ルスイ。 私はお酒が飲みたい。
tonoto ku=ku rusuy.
- ② クイク ルスイ。 私はお酒が飲みたい。
ku=iku rusuy.

Lesson12 の例文

- ① クアッケブ ルスイ ナ。 オヒョウの皮剥ぎをしたいな。
ku=atkep rusuy na.
- ② オピッタ ヘンネ エアッケブ チク ピリカ。 全部剥がないほうがいいよ。
opitta henne e=atkep cik pirka.

Lesson9 の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
オノン	onon	どこから
エ	e=	あなた、君、お前 (が、の)
エク	ek	来る (単数形)
オロ	or	～のところ
ワ	wa	から

Lesson10 の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
サラ	sar	草原
アシ	as	立つ (自動詞)
ナンコロ	nankor	～だろう
ナ	na	～ぞ
アリ	ari	～と
アン	an=	私たち (が、の)
イエ	ye	～を言う (他動詞)
コロ	kor	～ (し) ながら

Lesson11 の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
トノト	tonoto	酒
ク	ku=	私 (が、の)
ク	ku	～を飲む (他動詞)
ルスイ	rusuy	～したい
イク	iku	酒を飲む (自動詞)

Lesson12 の単語

アイヌ イタク aynu itak (アイヌ語)		シサム イタク sisam itak (日本語)
ク	ku=	私 (が、の)
アッケブ	atkep	オヒョウの木の皮を剥ぐ (自動詞)
オピッタ	opitta	すべて、ぜんぶ
ヘンネ	henne	～ない (否定)
エ	e=	あなた (が、の)
チク	cik	～すると
ピリカ	pirka	良い (自動詞)

アイヌ語ラジオ講座 ポッドキャスト

- アイヌ語ラジオ講座では、これまで放送してきた音声とテキストをダウンロードして、いつでもどこでも気軽にお楽しみいただけます。

ダウンロードはこちら

⇒ <https://www.stv.jp/radio/ainugo/index.html>

テキストはこちらからもダウンロードできます

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/radio.html

【注意事項】

- 平成10年度～平成11年度 Vol.1-3の音声は公開されておりません。何卒ご了承ください。
- 当テキストデータ及び音声データについて、他のウェブサイトへアップロードする等の利用行為及び営利目的に関わるすべての行為はお控えください。
- 著作権等に関する法令に遵守し、適切な範囲での利用をお願いします。

アイヌ語ラジオ講座 ウェブアンケート

- アイヌ語ラジオ講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化にまつわるお話等を放送しております。この講座のあり方や放送内容などを検討していくにあたり、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。なお、いただいたご意見は番組制作の参考以外に利用しません。

アンケートはこちらから

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/details/web.html

- 「アイヌ語ラジオ講座 CD等の貸出」及び「郵送アンケート」の実施について令和5年3月31日を持ちまして終了しました。引き続き上記ポッドキャストやウェブアンケートを実施してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

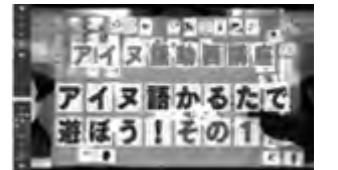
アイヌ民族文化財団 アイヌ語関連事業

- 公益財団法人アイヌ民族文化財団は、アイヌ語やアイヌ文化の振興を図る事業、アイヌの伝統等に関する普及啓発事業等を実施しています。

アイヌ語に関するコンテンツ

◆アイヌ語動画講座

多くの皆さんに「楽しみながらアイヌ語を学んでいただきたい」「もっとアイヌ文化のことを知ってもらいたい」というコンセプトのもと、初心者向けのアイヌ語講座を動画で配信しています。



◆オルシペ・スウォプ

アイヌの口承文芸（お話など）の語り（アイヌ語と日本語訳）及び字幕（アイヌ語、日本語訳、多言語訳）をつけたアニメーション映像を公開しています。



◆アイヌ語弁論大会 イタカンロー

アイヌ語を学ぶ方々の成果発表の場であるとともに、ご来場いただいた方々を含め、「みなさんでアイヌ語を楽しみましょう」というコンセプトの大会です。大会の様子をおさめた動画が、アイヌ語ポータルサイト内にてご覧いただけます。

アイヌ語ポータルサイト

上記を含むさまざまなアイヌ語に関するコンテンツをまとめたサイトがあります。

詳しくはこちら

⇒ https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html





ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館

体験型フィールドミュージアム

国立アイヌ民族博物館

見るだけでは終わらない
新しい発見がここにある。

国立民族共生公園

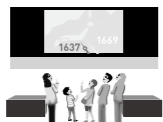
自然の中で培われてきた
先住民族アイヌの文化を五感で感じる。



アイヌ民族の視点で語る「6つのテーマ」に沿った展示等
多彩な展示方法でわかりやすく紹介します。



●私たちのことば
アイヌ語のしくみやアイヌ語由来の地名などについて、音声や映像を交えて紹介します。



●私たちの歴史
現代に続くアイヌの歴史のひろがりや連なりを視覚的にわかりやすく紹介します。



●私たちの世界
儀礼に使われる道具などを通じて、カムイ(神)の考えかた、自然観などについて紹介します。



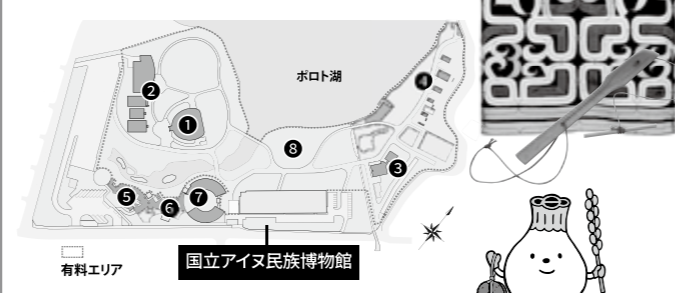
●私たちのしごと
狩猟、漁ろう、採集、農耕といった伝統的な生業のほか、現代のアイヌ民族の多様な仕事を紹介します。



●私たちの暮らし
衣食住、人の一生、音楽や舞踊など、アイヌ文化の特色や地域差を紹介します。



●私たちの交流
交易品を通して、様々な文化や民族との交流をたどっていくとともに、民族共生のありかたを伝えます。



①体験交流ホール
重要無形民俗文化財指定の「アイヌ古式舞踊」やムックリ演奏をはじめとして、ユネスコ無形文化遺産にも登録されているアイヌの伝統芸能を上演します。

②工房
スタッフによる実演が行われ、長く受け継がれている技術を間近に見学できるほか、木彫や刺繍の体験もできます。

③いざないの回廊
④歓迎の広場
⑤エントランス棟
木々や動物が描かれた回廊を抜けると大きな広場がお迎え。北海道のお土産などが揃うショップ、アイヌの食文化を楽しめるレストランやフードコートもあります。

⑥体験学習館
教育旅行等の体験活動や、楽器演奏の体験、調理体験等ができる施設です。隣接する別館では動物たちの視点から見える世界のパノラマ映像体験ができます。

⑦伝統的コタン
アイヌの昔のチセ(家屋)が再現され、生活空間を体感できるエリアです。室内の見学のほか、アイヌの暮らしや文化について解説するプログラム等を実施します。

⑧チキサニ広場
伝統的な衣装や踊りで歓迎するおもてなしの広場です。アイヌ古式舞踊やムックリの演奏などの伝統芸能を楽しめます。

ウポポイPRキャラクター
トッレツボン

■入場料

入場料	税込価格
大人(一般)	1,200円
大人(団体)	960円
高校生(一般)	600円
高校生(団体)	480円
中学生以下	無料

※団体(20名以上)

■所在地
〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3
開園情報・最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。



公式ウェブサイト



公式Facebook



会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

当財団は国及び北海道からの財政的な支援をいただいで運営しておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

<年会費>

◆法人・団体／一口2万円 ◆個人／一口5千円 ※各一口以上です。

<会員の特典>

◆民族共生象徴空間(ウポポイ)入場優待券を配布しております。

◆アイヌ民族文化財団発行の刊行物等の配布をしております。

(民族共生象徴空間運営事業の刊行物等は含まれません)

※入会には申込書が必要となりますので、希望される方は、アイヌ民族文化財団事務局(札幌)にお問い合わせ下さい。

申込書はホームページからもダウンロードできます。

https://www.ff-ainu.or.jp/web/overview/details/post_9.html



<会費の用途>

◆アイヌ文化の普及啓発、情報発信がより促進されるよう、自主事業の充実のために充てられます。

* 寄付金税額控除について

当財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

令和6年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.1

発行年月 令和6年3月

編集・発行 公益財団法人アイヌ民族文化財団